

COUNTRY RISK WEEKLY BULLETIN

10 June, 2009

IN THE HEADLINES



ラトビア

最近の情勢が通貨ベッグを早晩崩壊させる可能性を高めたかもしれない。先々週、国内の50万ラトビアラツ(70百万ユーロ相当)の国債の入札が失敗に終わった。それ以前にスウェーデンの中央銀行がその準備高を増やすために93億ユーロを借り入れており、それはラツが切り下げられた際の在ラトビアのスウェーデンの銀行の支援のための準備をしているという憶測を呼んだ。これに加え、政府が対外資金を確保するために必要なIMFの政策条件を満たすための努力をする中でも当局側も為替の切り下げを検討しないしは推奨してきている。通貨の切り下げは、その85%がユーロ建てである民間セクター債務の返済に関する信用リスクを急激に高めることになる。



イラン

6月12日の大統領選の結果は予測が困難である(注:当レポートは6月10日時点のもの)。主要な対立候補である「改革派」のムサビ氏は強力な選挙戦を繰り広げてきており、都会の知識およびプロフェッショナル階層より多くの票を集めるだろう。しかし、現職の過激派アフマディネジャド氏は地方の集落と強行派宗教グループからの人気がある。どちらが勝利するにしても、西側との関係が早期に変わることは見込むべきではないが、米国オバマ大統領が呼びかける「パートナーシップ」の構築のためにはイラン首都における新しい大統領の方がより易しいかもしれない。最高指導者のハマネイ師が、短期的な政策の継続性を確保していただく。



ブラジル

第1四半期の実質GDPは前四半期比0.8%、前年比では1.8%縮小し、景気後退を確認付けた。個人消費は比較的維持されたが、直接投資と輸出は急激に落ち込み、輸入も同様に落ち込んだ。製造業と建設業が供給サイドでの落ち込みの主要な部分を占めた。しかし、縮小のペースは、昨年第4四半期の、前四半期比3.6%縮小した時と比べて鈍化してきており、想定されていたほどは悪化していない。金融政策委員会が更なる引き下げを行う可能性がある、低下した金利水準の元では、緩和された信用条件と更なる外的ショックの不在の中では前四半期比でのプラス成長に戻る可能性は、弱いながらも改善してきている。しかしながら2009年全般ではGDPは1%までは縮小することが見込まれよう。



マレーシア

実質GDPは、国内および対外需要が世界的な景気後退によって影響を受ける中で第1四半期には前年比6.2%縮小した。但し、輸入(23.5%)が輸出(15.2%)よりも大きく落ち込んだことで純輸出はプラスとなった。投資は10.8%減少し、民間消費は0.7%落ち込んだが、尤も顕著だったのは在庫の落ち込みで、成長から11.6%差引く形となった。在庫の減少が継続する可能性は低いため、今後続く四半期はここまで悪いものにはならず、2009年全般については経済全体は3-4%縮小する程度となるだろう。金利水準は2月から据え置きとなっているが、インフレが急激に収まってきているので、早晩引き下げられるだろう。

ALSO IMPORTANT...



ボツワナ

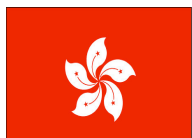
アフリカ開発銀行は今まで最大の15億ドルの予算支援型のローンを、サブサハラでのより成功している経済に対して承認した。ボツワナは世界的な景気後退によりマイナスの影響を受けており、とりわけダイヤモンドの需要の落ち込みとその価格の下落の影響を受けている。ボツワナはアフリカ開発銀行からここ17年は借り入れをしていなかったが、輸出収入の65%がダイヤモンド収入に依存し、2009-10年度の財政赤字はGDPの10-15%にも上るとみられる。輸入の二桁ヶ月のカバーが可能である十分な外貨準備高を持つ当該国にとって、このローンはむしろその経済の健全な運営の証のように見えるが、実質GDPは2009年には5-10%は縮小するだろう。



レバノン

選挙は意外な結果に終わり、親西欧の「3月14日連合」が128議席中68議席というはっきりとした過半数を得た。しかし、57議席を得たヒズボラを含む「3月8日連合」がガバナンスに顕著な影響を与えることになるだろう。前回の合意事項によれば「3月8日連合」は議会の1/3の議席を得ており、政策に対する棄権を發動することが出来た。しかし、「3月14日連合」の主導者のハリリ氏は政治的不協和と民衆の暴動に繋がりうる同様の内容に合意しなかった。挙国一致内閣が出来ても引き続き政治的な麻痺状態が続くことになるだろう。

COUNTRY REVIEW SUMMARIES



香港

非常に開放された経済であるため(輸出はGDPの200%)、世界貿易の崩壊の影響を全面的に受けており、第1四半期の実質GDPは前年比7.8%縮小した。2009年は6.5%の縮小となり、2010年には2-3%の控えめの成長となるだろう。財政刺激策(GDPの4%に上る)は国内需要のクッションとはなるが、2009-2010年度の財政赤字をGDPの3.5%まで拡大させるだろう。しかし、公的債務が低く、財政の準備高が高い(GDPの30%程度)中ではこの赤字は問題にはならないだろう。対外バランスは非常に固く、カレンシーボード制の維持は特段問題ないだろう。



スロバキア

輸出主導の経済は対外需要がEUの不景気によって影響を受けたことにより2009年には深く落ち込むことになるだろう。しかし、近年の力強い成長が、対外借入ではなく大規模な直接投資の流入によって賄われたこともあり、一般的なマクロ経済の基礎条件は比較的堅いといえる。また、今年のユーロの採用は通貨交換リスクをほぼ消滅させたといえよう。対外債務の総額は管理可能な水準であるが、比較的高い短期対外債務が、この世界的な金融危機の中、いくつかの企業において借り換え困難な状況を生む状況もありえる。倒産件数が急激に増えることになるだろう。

IN BRIEF

ガボン

アフリカで最長期間就任していたオマール・ボンゴ大統領が逝去し、後継者問題が持ち上がっている。

Edited by Andrew Atkinson

The content of the report (which is subject to change without notice) reflects only our opinion, which is based on information received by us. Accordingly no warranty, representation or other assurance is given as to the accuracy or completeness of the report. The report is for general information and is not intended to address any requirements you may have, for which you must obtain independent advice. The report does not constitute any form of advice, recommendation or arrangement by Euler Hermes UK plc or by the Euler Hermes Group of Companies and must not be relied upon in the making of any decision, agreement or arrangement. © Euler Hermes UK plc 2008.